

KAMO MACHI-ARUKI

—— 加茂の、まちあるき ——

vol.2

加茂川

商店街

日本料理 きふね

青海神社

西村農園

人も自然も歴史も全部ここにある。暮らしを覗くまちあるき



- KAMO CITY -

START!

1 市民にとっての憩いの場 加茂川

加茂市の市街地を流れる、加茂川。4月上旬～5月上旬には河川敷に約500匹の大きな鯉のぼりが飾られ、市内外から多くの人々が訪れる。川からの夕焼けは美しく、市民にとっては憩いの場のひとつだ。



2 店主の温かさが心地よいお店の数々 商店街

加茂駅からまっすぐ続く、商店街。魚屋や肉屋、衣服店など、多種多様な商店が連なる。今回お邪魔したのは、呉服の販売、着付けを行う「有本治平呉服店」と、メガネと補聴器の販売を行う「コイケメガネ」。双方とも加茂市民が通うお店だ。



3 伝統産業・桐箆笥と日本料理を楽しむ 日本料理 きふね

加茂市は220年以上の歴史を誇る日本有数の桐箆笥の生産地。地元の伝統産業を知ってもらおうと、市内にある野本桐函製作所と桐を使った弁当箱を製作した。中に入っているのは、料理長が丹精込めて作った季節の料理。桐箆笥に旬の食材と、加茂の魅力がたっぷり詰まった時間を楽しめる。



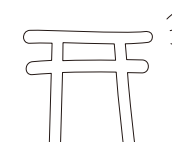
桐たんす御膳(税込2,500円 お造り、お吸い物、和三盆ぶりん付) ※2日前までに予約

4 青海神社

初詣、七五三、お参りなど、市民の暮らしと共にある神社



726年に青海郷を開拓した青海首一族が加茂山山麓に祖神椎根津彦命を祀ったことが始まり。794年に京都賀茂神社の社領となり、御分霊を併せ祀ったことで「加茂」の名がついたといわれる。加茂市民にとっては初詣や御祈祷はもちろん、散歩の一貫でも訪れるほど、身近な場所だ。



5 果樹農家でありながら、ジェラート屋も開店 西村農園

ル・レクチエや和梨、モモなどを栽培する、西村農園。果樹園のすぐそばでジェラート屋「農園茶屋 たばた」も運営している。梨の収穫体験では、和梨の収穫のポイントや、スーパーマーケットでの美味しい和梨の見分け方、梨の栽培の難しさなど、農家ならではの話を聞ける。



疲れたけれど
心はポカポカ!

GOAL!

アイコンの見方



見学OK!



食事ができる!



お買い物できる!



体験しよう!

加茂市民の憩いの場

加茂山公園

かもやまこうえん



KAMOYAMA PARK

加茂駅に近い、青海神社を中心とする加茂山全体に広がる公園。雪椿の群生地としても知られ、春は雪椿園を中心に多くの雪椿と桜が咲き乱れる。また、夏の緑や秋の紅葉など、四季を通じて豊かな自然を楽しめる場でもある。

池の端

山の高い方から低い方へと水が流れ込む4つの池、通称「池の端」。少し歩くだけで東屋、八つ橋、せせらぎ、水車などがあり散策にぴったり。新緑や紅葉の季節は特に賑わう。

魅力がいっぱい！加茂山公園を楽しもう！

加茂市民俗資料館

貴重な資料で加茂の歴史を辿る場所



民具・考古資料など約2万点を収蔵。水源地・千刈遺跡から出土した縄文・古墳時代の土器や七谷で発見された990万年前の「カモナナニム

カシイトヨ」の化石など、貴重な資料が見られる。

▶ 加茂市民俗資料館
開館時間：9時～17時 入館料：無料
休館日：月曜日、毎月1・3・5土日、祝日、年末年始
※但し、4・5月は月曜日のみ（祝日にあたる時は次の平日）

リス園

みんなの人気者！かわいいシマリスに癒される空間



愛嬌たっぷりのシマリスは、みんなの人気者。開園期間は4月上旬～11月下旬で、冬季は休みになるので、ご注意ください。

▶ 加茂山リス園
開園時間：10時～16時
休園日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日休園）

WHAT IS KAMO LIKE?



新潟県
加茂市

加茂って どんなところ？

京都の賀茂神社にその名を由来し、「北越の小京都」と呼ばれる加茂市。街の中心部には加茂川が流れ、JR加茂駅から徒歩5分の場所に加茂山があるなど、自然と一体になった街。新潟県のほぼ中央に位置し、新潟市や長岡市、新幹線駅「燕三条駅」へのアクセスも良好。加茂の桐箆笥は、昭和51（1976）年に国の「伝統的工芸品」の指定を受ける。

他にもこんなところがあるよ

✔ 粟ヶ岳県民休養地（水源地）



名峰・粟ヶ岳の山麓に広がる県民休養地。キャンプ場、ビジターセンターなどが整備され、水源地の水面に映る山肌は四季折々に美しい表情を見せる。粟ヶ岳には年間1万人を超える観光客が訪れ、毎年地元山岳会による山開き（4月29日）・山開い（11月3日）登山も行われる。

▶ ビジターセンター
住所：加茂市大字宮寄上2684
開館期間：4月～11月（冬季閉鎖）
開館時間：8時30分～16時30分

✔ 冬鳥越スキーガーデン



県央地域で唯一のスキー場。冬はスキー客で賑わい、春と秋は美しいバラ園を楽しむ多目的広場だ。園内には花時計や遊歩道、

県内最古の木造電車「モハ1」・半鋼製電動客車「モハ61」・電気機関車「ED1」の展示も。

▶ 住所：加茂市大字長谷186-7
開場時間：8時30分～17時
< 問い合わせ >
日の出荘・ロッジウェーデルン 0256-53-6020

彫刻の森

緑の中を散策しながらアートに触れる、心地よい時間

全国から公募された16点の彫刻が緑の中に点在する、自然の中の美術館。個性あふれる造形を眺めながら、散策を楽しんでみませんか。



●加茂山公園 住所：加茂市大字加茂228

KAMOYAMA PARK

1 屏風の技術を活かして商品の幅を広げた 大湊文吉商店



屏風や仏具、組子細工など、木と紙を組み合わせた商品を製造販売する。予約制で工場見学＋組子細工を使ったワークショップを開催。屏風や組子細工のインテリアなどの販売も行っている。元々は、木工と和紙の産地だった加茂市で屏風を主な商品としていたが、時代の波で需要が激減。そこで、屏風の技術を生かした組子細工のインテリアに注力し、別の商品に活路を見出した。



組子細工を使ったワークショップは、幅広い世代で人気！



2 アパレル業界の当たり前を変えたい！ G.F.G.S.



オーダー ボーダー
ピュアオーガニックコットン100%のオリジナルカットソー「ORDER BORDER」をメインにブランドを展開。既存のアパレルメーカーの流通や製造工程のシステムを変えようと、完全受注生産で一着ずつ生地から製作している。社長の小柳雄一郎さんは縫製業を営む家庭に生まれたものの、リーマンショックで家業が廃業寸前まで追い込まれることに。そこで、既存の会社を自らの手で廃業し、「G.F.G.S.」を立ち上げた。



3 米と野菜、直売所など、七谷を存分に楽しめる施設に！ 加茂七谷温泉 美人の湯



2021年4月にリニューアルした日帰り温泉施設。お食事処「ななたに食堂」では、粟ヶ岳からの雪解け水や澄んだ空気のできた七谷米と野菜など、七谷の旬を存分に味わえる。現在は、市内の事業者とスタッフで運営。玄関口では、七谷の野菜直売も行っている。



車で10分ほどの水源地では見事な景色が…！

4 加茂の商品とBBCらしさを掛け合わせ、新たな魅力を BBC Kamo Miyagemono Center



カフェを併設した土産物店。加茂市内の商店と連携したオリジナルメニューやお土産品の販売も行う。現在は市内にある平山豆腐店の豆乳を使ったソイラテや、銘菓「鬼の金棒」のリブランディングなど、既存の商品にBBCらしさを掛け合わせた商品を多数開発している。



KAMO MACHI-ARUKI



—— 加茂の、まちあるき ——

vol.3

大湊文吉商店

加茂七谷温泉 美人の湯

G.F.G.S.

BBC Kamo Miyagemono Center

ローカルで活動する人と、伝統産業と旬の味に出会う旅



- KAMO CITY -